

区立幼稚園・小中学校冷房化完了へ

快適な学習環境を実現 環境負荷にも配慮



区では、暑さの厳しい夏場に子どもたちの快適な学習環境を確保するため、平成17年度から区立幼稚園・小中学校の各教室に順次冷房機器の整備を進めてきました。平成23年度までに区立小中学校全校に整備を行い、今年7月には区立幼稚園保育室(大規模改修・改築を行う3園を除く)への整備が行われたことで、ほぼ全ての冷房化が完了しました。

▲気温が35℃を超えた日でも、教室は快適。みんなで歌って、踊って、園長先生と「じゃんけんゲーム」で大はしゃぎ(ちどり幼稚園で)

増加する夏季の学習需要に対応し学力向上をサポート

近年、夏季に真夏日が多くなる傾向にある一方で、2学期制の導入や補習授業の増加など、児童・生徒が学校で過ごす時間が増えています。

こうした状況のなかで、夏季に子どもたちが良好な環境で学習に取り組めるよう、区立小中学校では平成17年度から冷房機器の整備を順次実施し、平成23年度に全67校の図書室・普通教室・特別教室に整備が完了しました。

幼児の体調管理に配慮

区立幼稚園でも、降園時間後の預かり保育の実施や、未就園児をもつ保護者が幼稚園に登園して交流や子育ての悩みなどの相談を行う「親子登園」の開始

など、幼稚園に求められる新たなニーズにあわせて教室を活用できるように、平成20年度に遊戯室へ冷房機器を整備しました。

さらに今年、多様化する幼児教育への対応や、園児の健康管理面に配慮するため、7月末までに17園で保育室へも整備し、今夏から稼動しています。残る3園についても、大規模改修・改築時にあわせて整備を行い、平成27年度末までには全幼稚園の冷房化が完了予定です。

環境に配慮しつつ適切に使用

整備にあたっては、電力消費効率の良い機種を選定し、適切な使用方法を周知するとともに、屋上や壁面の緑化、校庭芝生化などに取り組み、自然環境に配慮していきます。

区立幼稚園でも、降園時間後の預かり保育の実施や、未就園児をもつ保護者が幼稚園に登園して交流や子育ての悩みなどの相談を行う「親子登園」の開始

区立幼稚園でも、降園時間後の預かり保育の実施や、未就園児をもつ保護者が幼稚園に登園して交流や子育ての悩みなどの相談を行う「親子登園」の開始

災害時一時避難施設提供の覚書を締結

潮見1・2丁目町会と近隣企業7社



▶潮見1・2丁目町会と近隣企業の皆さんで

7月、潮見1・2丁目町会と近隣企業7社との間で「災害時(津波、水害、震災等)における一時避難施設としての使用に関する覚書」が締結されました。この覚書は、東日本大震災の津波災害等をふまえ、同町会の法人・個人会員に安心を提供するために進められてきたもので「安心・快適なまちづくりをスローガンに掲げ、その実現に向けて取り組んできた(五十嵐町会長)」という思いが結実し、民間同士での協定締結に至りました【締結企業】株式会社久米設計、(宗)カトリック中央協議会、東京都ビジネスサービス株式会社、有隣協会さざなみ苑、社会福祉法人潮見老人ホーム、(協)東京プリンティングシティ、アパホテル(株)東京潮見駅前